

グリーン電力使い、商品開発

八戸のNPOフォーラムで紹介

青森

八戸市の特定非営利活動法人「グリーンシテイ」(富岡敏夫理事長)が主催する自然エネルギーフォーラムがこのほど、青森市のアスパムで開かれた。

購入すると風力や太陽光で発電したグリーン電力を使ったとみなされる「グリーン電力証書」を活用した商品開発例が次々に紹介さ

れ、参加者が熱心に耳を傾けていた。

講師は、オーガニックコットン(有機栽培綿)とグリーン電力でTシャツを製造している「久米繊維工業」(東京)代表取締役の久米信行さん(四五)。

久米さんは、自社が協力するTシャツアイト展などを紹介しながら、グリーン電力の活用で自社商品のブランド力が高まったことを強調。「周りから『エ

コにこだわって素晴らしい』と言われることで、社員のモラル意識も高まった。良い企業が、自社製品の製造に

や個人ほど環境対応に予算を盛るようになっていく」と語った。

このほか「斗南丘牧場」(むつ市)の原英輔代表取締役と、「八戸酒造」(八戸市)の駒井秀介専務取締役が、自社製品の製造に

グリーン電力を使っていることを紹介し、「まだ売り上げには直結していないが、注目されてきていると思う。これからも取り組んでいきたい」などと意気込みを語った。

(藤本耕一郎)



グリーン電力を使ったTシャツ製造について紹介する久米さん